

学びの本拠地、ホームタウン検沢 (HOMETOWN HISAWA)

平成28年7月1日(金)  
検沢小学校学校だより No.4  
文責: 校長 星 俊 夫

# 検っ子だより

【児童像】ひとと協力する子 さいごまでがんばる子 わかろうと真剣に学ぶ子

## ☆第1学期末授業参観ありがとうございます。



7月1日の授業参観は、保護者の皆様にはお忙しいところご来校いただきありがとうございます。今年度は、6月29日の食育講座・給食試食会と行事が続いてしまい、ご負担をおかけし大変申し訳ありませんでした。

さて、4月から3ヶ月が経ちましたが、子どもたちは一段と大きく成長してきているようで、とてもうれしく思っているところです。1年生も、今では学校に慣れ、すっかり検沢っ子の仲間入りです。

学年の枠を越えた子どもたちの自然な生活のスタイル(活動)は、本校の特色です。下の学年の子どもたちに温かな眼差しを向ける上級生は、優しい心に宿る「たくましさ」を感じます。

自分たちと違うからというそれだけの理由で人の命さえも奪ってしまうようなことが世界では現実起きています。また、身近な社会においてもそれと似たような事が毎日のように報道されている今、少し大げさかもしれませんが、違いを受け入れる人の心の豊かさが感じられない時代になっています。

自分と違う存在だからこそ「わくわくして新しい何かを見つける喜びを感じる」ことができる。たくましさを感じる目の前の子どもたちに、毎日元気をもらっています。

これはけっして大げさなことでもなく、響き合う心に胸躍るときが度々あります。

話を戻して・・・入学式・1年生を迎える会に始まり、交通教室、避難訓練、運動会、修学旅行と、子どもたちにとっては、いろんな体験を積んだ1学期でした。その一つ一つを通して集団生活の規律を学び、社会性を伸ばし、心も体もグンと成長したように思います。PTA・地域の方々のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。いつも子どもたちに(我が子だけでなく)温かい目を注いでくださる保護者の方々の姿に感心したり感動したりしました。また、これから夏休みを迎えますが、一人一人が充実した楽しい夏休みになるよう祈っています。ご家庭におきましても、規則正しく安全な生活に心がけるようご指導をお願いします。

救命救急講習会にも沢山の保護者の方に参加していただきました。ありがとうございます。



## ☆ 道徳教育の共同研究とおして、さらに大きな豊かな心を

桜沢小学校の本年度の共同研究は「道徳教育」です。

今、社会の変化に伴って、生活上のルールや基本的なモラルなどの倫理観の低下が指摘される中、子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、自尊感情や他人への思いやり、生命を尊重する心、公共の精神などを養うことが求められています。

## ☆ 道徳の授業を公開します。

道徳の授業は、全教育活動を通じて行う道徳教育の要です。そして、家庭や地域との連携は道徳教育の重要な条件です。

そこで、各学年、道徳の授業研究を保護者・地域の方々に公開します。

ご都合のつく方は、道徳の授業を参観していただき、共に道徳教育についての理解を深めていただければありがたいです。また、保護者・地域の方々には、下記の授業の中でご協力いただく場面がでてくるかもしれません。その時はよろしく願います。 ※2回目以降の詳しい内容は、改めて後日ご案内いたします。

第1回校内授業研究会	7月11日(月)	1年生の授業 第5校時(13:50~14:35)
第2回校内授業研究会	9月8日(木)	5・6年生の授業
第3回校内授業研究会	10月7日(金)	2年生の授業
第4回校内授業研究会	11月8日(火)	3・4年生の授業

桜沢小には人として道徳性あふれる行為、つまり分け隔てなく思いやりを持って接することができる子どもたちが目の前にいます。失敗したら、素直にあやまる子どもたちが目の前にいます。子どもたちの心は純粹です。もともと道徳的素性(よさ)をもっている子どもたちに、そのよさに気づかせ、「胸をはれ!」という思いでかわり、一人一人の豊かな心をさらに大きく伸ばしていければと考えています。